

2025 年 6 月 17 日

各 位

会社名 株式会社遠藤照明
代表者名 代表取締役社長 遠藤 邦彦
(コード番号 6932 東証スタンダード)
問合せ先 上席執行役員 管理本部長 後藤 修二
(TEL 06-6267-7095)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上させることを目的として、その実効性に関する分析・評価を実施し、2025 年 6 月 17 日開催の取締役会において、実効性評価の結果確認を行いました。つきましては、評価結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

社外役員を含む全ての取締役及び監査役に対して、「2024 年度取締役会の実効性アンケート」を実施し、全ての取締役及び監査役計 7 名（注）から回答を得ました。

これを集計した上で、2025 年 6 月 17 日開催の取締役会において分析・評価を行いました。

（注）社外取締役長畑隆也氏が、2025 年 4 月 5 日逝去され、回答者数が 8 名から 7 名へ変更となっています。

アンケートにおける大項目は以下の通りです。

- ① 取締役会の構成
- ② 取締役会の開催頻度・時間
- ③ 取締役会の資料・情報
- ④ 取締役会の運営全般
- ⑤ 議論の内容
- ⑥ 取締役会への参画（自己評価）
- ⑦ 社外取締役／監査役
- ⑧ その他個別項目

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、以下の評価より、その実効性は概ね確保されているものと判断いたしました。

- ・当事業年度における業績目標達成に向けた議論が適切になされている。
- ・中期経営計画の達成に向けた進捗管理、検証の議論は、活性化しているが、長期ビジョン策定に関する議論の更なる拡充が必要である。
- ・社外役員（監査役含む）と経営陣との意思疎通（取締役会以外の場で）が十分に図れている。
- ・投資家・株主とのコミュニケーションについて、IR 活動状況や投資家からの反応等、フィードバック等の取り組みがなされている。
- ・サステナビリティ経営推進のための議論の拡充が図られている。
- ・内部統制システムの監督や関連当事者間取引の監視は、適切になされている。

一方、改善すべき課題があることも確認され、主な意見は以下のとおりとなりました。

- ・取締役会資料の提供時期の早期化・安定化を図るとともに、明瞭な議案説明の実施。
- ・業務執行のモニタリング機能をより一層意識した情報提供と十分な審議時間の確保。
- ・取締役会の構成バランスにおいて、プロパーからの女性役員の登用やグローバル人材の強化等、多様性に関する議論の継続と CFO（最高財務責任者）設置の検討。
- ・後継者計画に基づいた継続的な議論の実施。
- ・DX 戦略に関する議論の拡充。

3. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果による課題を踏まえ、今後も更なる議論を重ね、進捗が滞っている課題を中心に、取締役会の実効性を高めて行くための継続的な取り組みを行い、改善に努めてまいります。

当社は取締役会の実効性評価を今後も定期的に実施することで、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

以 上